

事務連絡
平成26年1月28日

都道府県
各 指定都市 障害保健福祉主管課 御中
中核市

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

心臓機能障害（ペースメーカー等植え込み者）の
身体障害認定における日常生活活動の判定について

平素より障害保健福祉行政の推進に御尽力いただき厚く御礼申し上げます。
心臓機能障害（ペースメーカー等植え込み者）の身体障害認定基準の見直しに
係る改正通知については、平成26年1月21日付けでお送りしたところです。
この改正後の身体障害認定基準における日常生活活動の判定に必要な身体活
動能力（メッツ）の測定に当たっての身体活動能力質問表の問診事項等につい
ては、下記の論文※において示されているところです。

心臓機能障害の身体障害認定のための医師の意見書・診断書を作成する際に、
身体活動能力（メッツ）の測定の参考の一つになると思われますので、心臓機
能障害の身体障害認定に関わる身体障害者福祉法第15条第1項に規定する医
師等に対して、別紙について周知いただきますようお願い申し上げます。

※出典

Sasayama S, Asanoi H, Ishizaka S, Miyagi K. Evaluation of functional capacity of patients with congestive heart failure. In : Yasuda H, Kawaguchi H (eds.), New aspects in the treatment of failing heart syndrome. Springer-Verlag, Tokyo. 1992. pp113-117.

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
企画課人材養成・障害認定係
電話 03-5253-1111（内3029）
FAX 03-3502-0892

身体活動能力質問表

(Specific Activity Scale)

●問診では、下記について質問してください。

(少しつらい、とてもつらいはどちらも「つらい」に○をしてください。わからないものには「？」に○をしてください)

1. 夜、楽に眠れますか？(1Met 以下)	はい	つらい	?
2. 横になつていると楽ですか？(1Met 以下)	はい	つらい	?
3. 一人で食事や洗面ができますか？(1.6Mets)	はい	つらい	?
4. トイレは一人で楽にできますか？(2Mets)	はい	つらい	?
5. 着替えが一人でできますか？(2Mets)	はい	つらい	?
6. 炊事や掃除ができますか？(2～3Mets)	はい	つらい	?
7. 自分で布団を敷けますか？(2～3Mets)	はい	つらい	?
8. ぞうきんがけはできますか？(3～4Mets)	はい	つらい	?
9. シャワーを浴びても平気ですか？(3～4Mets)	はい	つらい	?
10. ラジオ体操をしても平気ですか？(3～4Mets)	はい	つらい	?
11. 健康な人と同じ速度で平地を 100～200m 歩いても 平気ですか。(3～4Mets)	はい	つらい	?
12. 庭いじり(軽い草むしりなど)をしても平気ですか? (4Mets)	はい	つらい	?
13. 一人で風呂に入れますか？(4～5Mets)	はい	つらい	?
14. 健康な人と同じ速度で 2 階まで昇っても平気ですか? (5～6Mets)	はい	つらい	?
15. 軽い農作業(庭掘りなど)はできますか？(5～7Mets)	はい	つらい	?
16. 平地で急いで 200m 歩いても平気ですか？(6～7Mets)	はい	つらい	?
17. 雪かきはできますか？(6～7Mets)	はい	つらい	?
18. テニス(又は卓球)をしても平気ですか？(6～7Mets)	はい	つらい	?
19. ジョギング(時速 8km 程度)を 300～400m しても平気 ですか？(7～8Mets)	はい	つらい	?
20. 水泳をしても平気ですか？(7～8Mets)	はい	つらい	?
21. なわとびをしても平気ですか？(8Mets 以上)	はい	つらい	?

症状が出現する最小運動量 _____ Met s

※ Met: metabolic equivalent (代謝当量) の略。安静坐位の酸素摂取量 (3.5ml/kg 体重/分) を 1Met として活動時の摂取量が何倍かを示し、活動強度の指標として用いる。

身体活動能力質問表 記入上の注意及び評価方法

○担当医師が身体活動能力質問表を見ながら**必ず問診してください。**

(この質問表はアンケート用紙ではありませんから、**患者さんには渡さないでください**)

○患者さんに問診し身体活動能力を判定する際には、以下の点にご注意ください。

- 1) 身体活動能力質問表とは、医師が患者に記載されている項目の身体活動が楽にできるかを聞くことにより、心不全症状が出現する最小運動量をみつけ、Mets で表すものです。
- 2) これらの身体活動は必ず患者のペースではなく、**同年齢の健康な人と同じペースでできるか**を問診してください。
- 3) 「わからない」という回答はなるべく少なくなるように問診を繰り返してください。たとえば、患者さんが最近行ったことの無い運動でも、過去に行った経験があれば、今でもできそうか類推することができます。
- 4) 患者の答えが「はい」から「つらい」へ移行する問診項目については特に注意深く確認してください。**「つらい」という答えがはじめて現れた項目の運動量 (Mets の値) が、症状が出現する最小運動量となり、その患者の身体活動能力指標 (Specific Activity Scale:SAS) になります。**
- 5) 最小運動量の決め手となる身体活動の質問項目は、その心不全患者の症状を追跡するための key question となりますので、カルテに最小運動量(Mets 数)と質問項目の番号を記載してください。
※key question とは、身体活動能力の判別に役立つ質問項目です。質問項目の 4、5、11、14 がよく使われる key question です。
- 6) Mets 数に幅のある質問項目 (質問 6~11、13~20) については、**同じ質問項目で症状の強さが変化する場合には、0.5Mets の変動で対応してください。**
- 7) 「少しつらい」場合でも「つらい」と判断してください。

(例) ぞうきんがけはできますか？

- ・この 1 週間で実際にぞうきんがけをしたことがあり、楽にできた。
 - ・この 1 週間にしたことはないが、今やっても楽にできそうだ。
 - ・ぞうきんがけをしてみたが、少しつらかった。
 - ・ぞうきんがけをしてみたが、つらかった。
 - ・できそうになかったので、ぞうきんがけはしなかった。
 - ・この 1 週間にしたことはないが、今の状態ではつらくてできそうにない。
 - ・ぞうきんがけをしばらくやっていないので、できるかどうかわからない。
 - ・ぞうきんがけをやったことがないので、できるかどうかわからない。
- } → はい
} → つらい
} → わからない

(初めての測定の場合)

「健康な人と同じ速度で平地を 100~200m 歩いても平気ですか。(3~4Mets)」という質問で初めて症状が認められた場合、質問 11 が key question となり、**最小運動量である SAS は 3.5Mets と判定します。**

(過去に測定していたことがある場合)

同じ 11 の質問項目で症状の強さが変化する場合、「つらいけど以前よりは楽」の場合は 4Mets に、「以前よりもつらい」場合は 3Mets として下さい。以前とは、前回の測定時のこととします。